

平成 27 年度環境省委託業務報告書

平成 27 年度
農薬残留対策総合調査委託業務

平成 28 年 3 月

一般財団法人
MIST 材料科学技術振興財団

目次

I. 河川中農薬モニタリング調査

I-1	調査の構成及び実施機関	1
I-2	河川中農薬モニタリング調査の概要	2
I-3	平成 27 年度（今年度）調査結果のまとめ	8
I-4	過年度調査結果のまとめ	18
I-5	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	39
I-6	栃木県農業試験場	67
I-7	埼玉県	75
I-8	千葉県	85
I-9	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	94
I-10	奈良県	104

II. 後作物残留に係る調査

II-1	調査の構成及び実施機関	114
II-2	後作物残留に係る調査の概要	115
II-3	平成 27 年度（今年度）調査結果のまとめ	120
II-4	過年度調査結果のまとめ	125
II-5	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	157
II-6	宮城県	160
II-7	長野県農業試験場	167
II-8	愛知県	173
II-9	京都府農林水産技術センター	179
II-10	兵庫県	186
II-11	山口県農林総合技術センター	193
II-12	徳島県	200
II-13	香川県農業試験場	206
II-14	高知県	212
II-15	熊本県	219

I. 河川中農薬モニタリング調査

I-1 調査の構成及び実施機関

I-1-1 業務の名称

平成 27 年度農薬残留対策総合調査委託業務
河川中農薬モニタリング調査

I-1-2 目的

水産動植物の被害防止に係る登録保留基準値（以下、水産基準値という。）及び水質汚濁に係る登録保留基準値（以下、水濁基準値という。）と環境中予測濃度（PEC）が近接している農薬等について、河川における濃度実態の調査及び環境中農薬濃度が当該基準値等を超えないようにする措置の検証を行うことを目的とした。

I-1-3 調査機関名

一般財団法人 材料科学技術振興財団

I-1-4 調査課題・実施機関

水産基準値及び当該農薬に係る水産 PEC と、河川における当該農薬の検出実態とを比較・評価検証するため、河川中の農薬濃度についてモニタリング調査を実施した。調査は以下 6 機関（または県）に委託した。

【調査実施機関（または県）】

- ・ 地方独立行政法人北海道立総合研究機構
- ・ 栃木県農業試験場
- ・ 埼玉県
- ・ 千葉県
- ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
- ・ 奈良県

I-2 河川中農薬モニタリング調査の概要

I-2-1 調査概要

1) 調査目的

水産基準値及び水濁基準値とPECが近接している農薬等について、河川における濃度実態の調査及び環境中農薬濃度が当該基準値等を超えないようにする措置の検証を行い、農薬の使用に伴う健康・生態リスクの適切な管理に資することを目的とした。

2) 農薬及び対象地域の選定

水産基準値と水産PECが近接している農薬について、使用量が多い地域（流域）において実施するものとした。

平成27年度の水質農薬残留調査の概要（実施機関、調査対象河川、対象農薬）及び対象農薬の過年度における調査の実施状況は表I-2-1、表I-2-2に示すとおりである。

① 調査対象農薬

表I-2-3に示す農薬のうち、調査対象地域における使用実態がおおむね把握でき、かつその使用量（割合）が多い農薬を、1以上選択する。また、表I-2-4及び表I-2-5の農薬についても使用量（割合）が多く、分析が可能な場合は調査対象に追加する。定量限界は測定が可能な範囲で表に示す数値より小さい値に設定することが望ましい。

② 調査対象地域

調査対象農薬が使用されている農地（水田剤であれば水田）がまとまって存在する地域であること（300ha以上が目安であるが、それに満たない場合でも当該農薬の使用割合が多く、その使用実態が把握できる場合は可。）とする。

また、当該農地から流入のある河川の下流に環境基準点（もしくは補助地点）があり、調査地点とすることができることとする。

表 I-2-1 平成 27 年度 調査実施機関と対象農薬

実施機関	調査対象河川 (観測地点)	農薬成分	種別	主用途
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	鶴川 (鶴川大橋、新春日大橋)	イミダクロプリド	殺虫剤	稲、果樹、野菜等
	厚真川 (ならやま橋、厚真新橋、浜厚真橋)	エトフェンプロックス	殺虫剤	稲、果樹、野菜等
	ウクル川 (森田橋)	クミルロン	除草剤	稲等
	軽舞川 (若草橋)	チアジニル	殺菌剤	稲
		プレチラクロール	除草剤	稲
栃木県農業試験場	小貝川 (三谷橋、小貝川大橋、長橋)	シメトリン	除草剤	稲
	大羽川 (手越橋)	プレチラクロール	除草剤	稲
埼玉県	市野川 (徒歩橋)	シメトリン	除草剤	稲
	越辺川 (落合橋、高坂橋)	メフェナセット	除草剤	稲
	飯盛川 (荻野 2 号橋)		除草剤	稲
	大谷川 (ポンプ場)	プレチラクロール	除草剤	稲
千葉県	鹿島川 (鹿島橋、鹿島川大橋、岩富橋)	シメトリン	除草剤	稲
	高崎川 (鹿島橋、樋之口橋)	プレチラクロール	除草剤	稲
	師戸川 (師戸橋、大廻)			
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産 総合研究所	石川 (高橋、石川橋)	ブタクロール	除草剤	稲
	佐備川 (大伴橋)	プレチラクロール	除草剤	稲
	飛鳥川 (円明橋)	プロモブチド	除草剤	稲
		メフェナセット	除草剤	稲
		ブプロフェジン	殺虫剤	稲、果樹、野菜等
奈良県	飛鳥川 (四分橋、甘檜橋)	プレチラクロール	除草剤	稲
	曾我川 (曾我川橋)	プロモブチド	除草剤	稲
	寺川 (興仁橋)			

表 I-2-2 対象農薬の過年度の調査実施状況

対象農薬	過年度における河川モニタリング調査の実施状況												今年度
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
イミダクロプリド													北海道
エトフェンプロックス				兵庫県	高知県								北海道
クミルロン											北海道	北海道	北海道
シメトリン	埼玉県	埼玉県	埼玉県 神奈川県	埼玉県 兵庫県				茨城県	北海道 茨城県	北海道 茨城県 島根県	北海道 茨城県 埼玉県 千葉県	北海道 茨城県 栃木県 埼玉県 千葉県	栃木県 埼玉県 千葉県
チアジニル													北海道
ブタクロール	北海道			大阪府	大阪府	北海道 大阪府	北海道 大阪府	大阪府		大阪府 島根県	大阪府 高知県	大阪府	大阪府
ブプロフェジン			兵庫県	兵庫県									大阪府
プレチラクロール	茨城県 大阪府 北海道	青森県 埼玉県	北海道 神奈川県 兵庫県	秋田県 埼玉県 大阪府 兵庫県	秋田県 埼玉県 大阪府 兵庫県	秋田県 大阪府	茨城県 大阪府 島根県	茨城県 大阪府	北海道 茨城県 高知県	北海道 茨城県 千葉県 長野県 大阪府 島根県 高知県	北海道 茨城県 埼玉県 千葉県 大阪府 高知県	北海道 茨城県 栃木県 埼玉県 千葉県 大阪府 奈良県 京都府 奈良県 香川県	北海道 栃木県 埼玉県 千葉県 大阪府 奈良県
プロモブチド	北海道	兵庫県	青森県 埼玉県 兵庫県	青森県 埼玉県 大阪府 兵庫県	埼玉県 大阪府 兵庫県 高知県	埼玉県 大阪府	大阪府	北海道 大阪府	島根県	北海道 茨城県 大阪府 島根県 高知県		(宮城県) 大阪府 奈良県	大阪府 奈良県
メフェナセット	埼玉県 大阪府 北海道		神奈川県 兵庫県	埼玉県 大阪府 兵庫県 島根県	埼玉県 大阪府 兵庫県 島根県	埼玉県 大阪府 島根県	茨城県 大阪府	大阪府	高知県	大阪府 高知県	大阪府 高知県	大阪府 香川県	埼玉県 大阪府

3) 調査方法

(1) 水質調査

調査地点は、水産 PEC（表 I-2-3）の評価地点である環境基準点または補助地点とし、3 地点以上設置する（同一の調査対象地域で設置できない時は複数の調査対象地域でも構わない）。なお、これまでの知見により高濃度での検出が見込まれるとき及び表 I-2-4 の農薬について分析するときは、環境基準点の近傍の水濁 PEC の評価地点である排水路や小河川のある地点に複数の調査地点を設置することもできる（図 I-2-1）。

表 I-2-3 水産基準値と水産 PEC が近接している農薬等及び定量限界

農薬	種別	主用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水産 PEC ($\mu\text{g/L}$)	定量限界 ($\mu\text{g/L}$)
シメトリン	除草剤	稲	6.2	0.7146	0.01
ブタクロール	除草剤	稲	3.1	0.15	0.01
プレチラクロール	除草剤	稲	2.9	1.1	0.01

* 定量限界は測定が可能な範囲で表に示す数値より小さい値に設定することが望ましい。

表 I-2-4 水濁基準値と水濁 PEC が近接している農薬及び定量限界

農薬	種別	主用途	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁 PEC ($\mu\text{g/L}$)	定量限界 ($\mu\text{g/L}$)
クミルロン	除草剤	稲等	20	7.3	1
チアジニル	殺菌剤	稲	100	64	1
ブプロフェジン	殺虫剤	稲、果樹、野菜等	23	2.5	0.1
プロモブチド	除草剤	稲	100	36	10
メフェナセット	除草剤	稲	10	2.3	1

* 定量限界は測定が可能な範囲で表に示す数値より小さい値に設定することが望ましい。

表 I-2-5 ネオニコチノイド系農薬等の農薬及び定量限界

農薬	主用途	水産			水濁		
		基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)	定量限界 ($\mu\text{g/L}$)	基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)	定量限界 ($\mu\text{g/L}$)
イミダクロプリド	稲、果樹、野菜等	8500	4.5	1	150	15	10
ブプロフェジン	稲、果樹、野菜等	80	12	0.1	23	2.5	1
エトフェンプロックス	稲、果樹、野菜等	0.67	0.036	0.01	82	18	1

* 定量限界は測定が可能な範囲で表に示す数値より小さい値に設定することが望ましい。

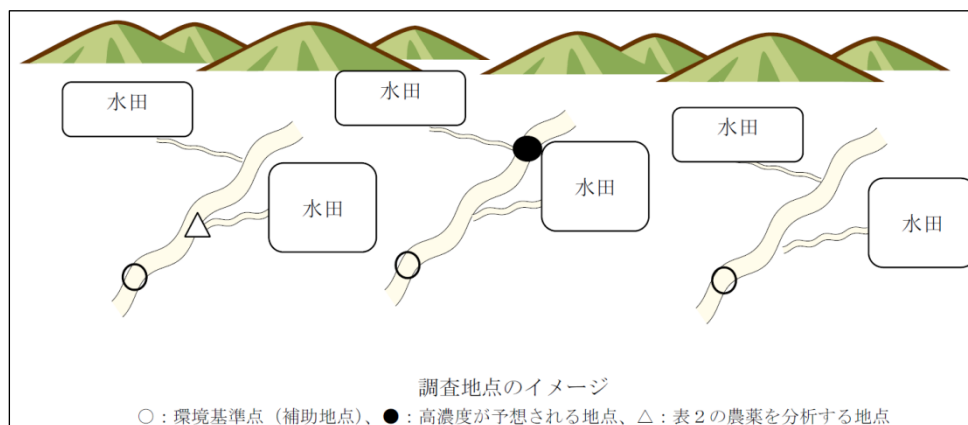


図 I-2-1 調査地点のイメージ

調査実施時期は、対象農薬の使用時期の直前から使用後とし、使用最盛期にはできるだけ高頻度に、その後は1～2週間おきに濃度が十分下がるまで調査を行い、調査対象地域の農薬の最大使用量が確認できることとする。採水はステンレス又はガラス製の適切な容器を用い、原則として流心から行い、毎回できるだけ同じ時間帯に行う。採水後はすみやかに分析に供する。

定量限界については表 I-2-3、表 I-2-4 の定量限界の欄に掲げるとおりとするが、該当数値は最低限満たすべき水準として示したものであり、測定が可能な範囲でより小さい値に設定することが望ましい。

なお、採水試料は、採水時刻、水温、pH、濁り等についても調査する。

(2) 農薬使用実態調査

調査対象地域における対象農薬の使用実態（使用量、使用時期等）についてできるだけ詳しく情報を入手し報告する。また情報の把握方法（入手元、入手方法等）を記載する。

(3) 対象農薬の普及率

調査対象地域における対象農薬の使用量及び農地面積から、対象農薬の普及率を算出する。

(4) 調査対象水域の水管理方法

対象農薬が水田剤の場合は、調査対象地域の水田でどのような水管理（代掻き時の止水の有無、対象剤使用後の止水日数等）が行われているか、可能な限り調査し記載する。

(5) 流量の調査

調査地点における流量について計測あるいは測定データを入手し報告する。

(6) 調査地点の河川の流域面積

調査地点とした河川の流域面積について、計測あるいは測定データを入手し報告する。

(7) 気象観測

アメダス等の利用により調査期間中の気温（1日平均値）、降水量（1日合計値）を調査する。広域の場合は主たる農薬使用地域を代表する気象データを用いる。

(8) 考察

水産基準値、水濁基準値及びPEC（水田適用があるものについては第2段階）を超えて検出された場合、当該結果となった理由について考察し記載する。

I-3 平成27年度（今年度）調査結果のまとめ

I-3-1 イミダクロプリド

最大濃度：0.0719 $\mu\text{g/L}$ （環境基準点）、0.222 $\mu\text{g/L}$ （支流）

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	8500	4.5 (Tier1)
水濁	150	15 (Tier1)

表 I-3-1 今年度の調査結果の概要（イミダクロプリド）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	鶴川		41.4	4.7	— ⁽¹⁾	(1):継続的に検出されなかったため算出は行わなかった
	①鶴川大橋	<0.050				
	②新春日大橋	<0.050				
	厚真川		78.8	5.2	— ⁽¹⁾	
	③ならやま橋	<0.050				
	④厚真新橋	0.071				
	⑤浜厚真橋	0.094				
	ウクル川					
	⑥森田橋	0.222				
軽舞川						
⑦若草橋	0.085					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

I-3-2 エトフェンプロックス

最大濃度：0.00172 $\mu\text{g/L}$ (環境基準点)、0.0267 $\mu\text{g/L}$ (上流動態観測点)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	0.67	0.036 (Tier1)
水濁	82	18 (Tier1)

表 I-3-2 今年度の調査結果の概要 (エトフェンプロックス)

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合 研究機構	鵜川		77.8	8.9	— ⁽¹⁾	(1): 継続的に検出されなかったため算出は行わなかった
	①鵜川大橋	<0.0050				
	②新春日大橋	<0.0050				
	厚真川		113.3	7.5	— ⁽¹⁾	
	③ならやま橋	0.0267				
	④厚真新橋	<0.0050				
	⑤浜厚真橋	<0.0050				
	ウクル川					
	⑥森田橋	<0.0050				
軽舞川						
⑦若草橋	<0.0050					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

I-3-3 クミルロン

最大濃度： 2.94 $\mu\text{g/L}$ (環境基準点)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	90	36 (Tier1)
水濁	20	7.3 (Tier2)

表 I-3-3 今年度の調査結果の概要 (クミルロン)

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合 研究機構	鶴川		12.5 ⁽¹⁾	1.4 ⁽¹⁾	114 ⁽¹⁾	(1)：平成 25年度の 販売実績 を用いて 算出
	①鶴川大橋	0.350				
	②新春日大橋	0.117				
	厚真川		107	7.1	1.3	
	③ならやま橋	0.00055				
	④厚真新橋	2.94				
	⑤浜厚真橋	0.719				
	ウクル川					
	⑥森田橋	2.01				
	軽舞川					
⑦若草橋	0.645					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

I-3-4 シメトリン

最大濃度：2.04 $\mu\text{g/L}$ （環境基準点）、2.58 $\mu\text{g/L}$ （動態観測点）

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	6.2	0.7146 (Tier2)
水濁	未設定	未設定

表 I-3-4 今年度の調査結果の概要（シメトリン）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		205.11	8.8	3.52	
	①三谷橋	2.04 ^{*2}				
	②小貝川大橋	2.26 ^{*2}				
	④長橋	2.58 ^{*2}				
	大羽川					
	③手越橋	2.08 ^{*2}				
埼玉県	市野川		71	6.9	3.77	
	①徒歩橋	0.17				
	越辺川		92	6.9	1.73	
	②高坂橋	0.18				
	⑤落合橋	0.24				
	飯盛川					
	③荻野2号橋	0.33				
	大谷川					
④ポンプ場	0.22					
千葉県	鹿島川・高崎川		17.6	3.5	28	
	①鹿島橋	0.47				
	鹿島川					
	③鹿島川大橋	0.56				
	⑤岩富橋	0.59				
	高崎川					
	④樋之口橋	0.33				
	師戸川		8.5	5.2	7.8	
	②師戸橋	0.68				
⑥大廻	0.22					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

I-3-5 チアジニル

最大濃度： 0.0204 $\mu\text{g/L}$ (環境基準点)、0.0213 $\mu\text{g/L}$ (支流)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	未設定	未設定
水濁	100	64 (Tier1)

表 I-3-5 今年度の調査結果の概要 (チアジニル)

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合 研究機構	鵜川		6.6	0.75	— ⁽¹⁾	(1):検出 されなかつたため 算出は行 わなかつた
	①鵜川大橋	<0.060				
	②新春日大橋	<0.060				
	厚真川		15.3	1.0	— ⁽¹⁾	
	③ならやま橋	<0.060				
	④厚真新橋	<0.060				
	⑤浜厚真橋	<0.060				
	ウクル川					
	⑥森田橋	<0.060				
	軽舞川					
⑦若草橋	<0.060					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

I-3-6 ブタクロール

最大濃度：2.82 $\mu\text{g/L}$ （環境基準点）

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	3.1	0.15 (Tier2)
水濁	26	0.21 (Tier2)

表 I-3-6 今年度の調査結果の概要（ブタクロール）

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		260	15	19.6	
	①石川橋	1.95 ^{※2,4}				
	④高橋	0.72 ^{※2,4}				
	飛鳥川					
	②円明橋	1.73 ^{※2,4}				
	佐備川					
	③大伴橋	2.82 ^{※2,4}				

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、**※環境基準点**

I-3-7 ブプロフェジン

最大濃度：-

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	80	12 (Tier1)
水濁	23	2.5 (Tier2)

表 I-3-7 今年度の調査結果の概要（ブプロフェジン）

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		421	21	— ⁽¹⁾	(1)：正確な使用量の把握が困難のため算出は行わなかった
	①石川橋	<0.04				
	④高橋	<0.04				
	飛鳥川					
	②円明橋	<0.04				
	佐備川					
	③大伴橋	<0.04				

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、**※環境基準点**

I-3-8 プレチラクロール

最大濃度：2.51 $\mu\text{g/L}$ （環境基準点）、6.49 $\mu\text{g/L}$ （上流動態観測点）

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	2.9	1.1 (Tier2)
水濁	47	16 (Tier1)

表 I-3-8 今年度の調査結果の概要（プレチラクロール）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究機 構	鶴川		208.1	23.9	16	
	①鶴川大橋	0.410				
	②新春日大橋	0.106				
	厚真川		268.9	17.9	0.73	
	③ならやま橋	0.0123				
	④厚真新橋	0.752				
	⑤浜厚真橋	0.218				
	ウクル川					
	⑥森田橋	0.351				
	⑦若草橋	0.463				
栃木県農業試験場	小貝川		348.7	15.2	4.86	
	①三谷橋	2.19 ^{*2}			43.33	
	②小貝川大橋	4.04 ^{*1,2}				
	④長橋	2.77 ^{*2}			5.48	
	③手越橋	1.86 ^{*2}				
埼玉県	市野川		386	37	1.62	
	①徒歩橋	0.98	498	37	1.54	
	越辺川					
	②高坂橋	0.65				
	⑤落合橋	2.51 ^{*2}				
	飯盛川					
	③荻野2号橋	1.58 ^{*2}				
④ポンプ場	4.58 ^{*1,2}					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μ g/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
千葉県	鹿島川・高崎川		73.6	14.6	33	
	①鹿島橋	2.6 ^{※2}				
	鹿島川					
	③鹿島川大橋	3.0 ^{※1,2}				
	⑤岩富橋	1.0				
	高崎川					
	④樋之口橋	2.2 ^{※2}	33.8	20.6	15	
	師戸川					
	②師戸橋	2.8 ^{※2}				
	⑥大廻	0.4 ^{※2}				
地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	石川		2	0.1	— ⁽¹⁾	(1): 正確な使用量の把握が困難のため算出は行わなかった
	①石川橋	1.05				
	④高橋	0.08				
	飛鳥川					
	②円明橋	1.31 ^{※2}				
	佐備川					
	③大伴橋	2.15 ^{※2}				
奈良県	飛鳥川		268.4	23.5	0.7	
	①四分橋	0.16			11.8	
	②甘樫橋	6.49 ^{※1,2}				
	曾我川					
	③曾我川橋	0.38			6.5	
	寺川					
	④興仁橋	0.59				

※1：水産基準値超過、※2：水産PEC超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁PEC超過、**※環境基準点**

I-3-9 プロモブチド

最大濃度：24.25 $\mu\text{g/L}$ （環境基準点）

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	480	23 (Tier1)
水濁	100	36 (Tier1)

表 I-3-9 今年度の調査結果の概要（プロモブチド）

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		660	35	26.3	
	①石川橋	11.2				
	④高橋	5.71				
	飛鳥川					
	②円明橋	9.68				
	佐備川					
	③大伴橋	24.3 ^{※2}				
奈良県	飛鳥川		205.3	17.9	2.9	
	①四分橋	1.76				
	②甘樫橋	6.21				
	曾我川					
	③曾我川橋	2.29				
	寺川					
	④興仁橋	3.50			77.2	
					24.5	

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、※環境基準点

I-3-10 メフェナセット

最大濃度：6.53 $\mu\text{g/L}$ (環境基準点)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	32	18 (Tier1)
水濁	10	2.3 (Tier2)

表 I-3-10 今年度の調査結果の概要 (メフェナセット)

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県	市野川		51	5.0	0.27	
	①徒歩橋	0.08				
	越辺川		67	5.0	0.66	
	②高坂橋	0.04				
	⑤落合橋	0.07				
	飯盛川					
	③荻野2号橋	0.04				
大谷川						
④ポンプ場	0.06					
地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		9	0.5	— ⁽¹⁾	(1): 正確な使用量の把握が困難のため算出は行わなかった
	①石川橋	0.61				
	④高橋	0.16				
	飛鳥川					
	②円明橋	0.85				
	佐備川					
③大伴橋	6.53 ^{※4}					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過、**※環境基準点**

I-4 過年度調査結果のまとめ

I-4-1 イミダクロプリド

最大濃度： 過年度の調査なし

	登録保留基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水産	8500	4.5 (Tier1)
水濁	150	15 (Tier2)

I-4-2 エトフェンプロックス

最大濃度：-

	登録保留基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水産	0.67	0.036 (Tier1)
水濁	82	18 (Tier1)

表 I-4-1 農薬の過年度の検出状況（エトフェンプロックス）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H19	高知県環境研究センター	仁淀川及び 波介川	検出限界以下	-	水田農薬河川 モニタリング調査 汽水域等における モニタリング調査
		ハ田堰 (上流部観測点)	検出限界以下		
H18	兵庫県立健康環境科学 学研究センター	杉原川	<0.01	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)			

※1：水産基準値超過、※2：水産PEC超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁PEC超過

I-4-3 クミルロン

最大濃度：4.62 $\mu\text{g/L}$ (環境基準点)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	90	36 (Tier1)
水濁	20	7.3 (Tier2)

表 I-4-2 農薬の過年度の検出状況 (クミルロン)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	鵒川	0.726 (環境基準点)	76	河川中農薬 モニタリング調査
		鵒川橋	0.726		
		厚真川	4.62 (環境基準点)	11	
		厚真新橋	4.62		
		軽舞川	2.33 (支流)		
		若草橋 (支流)	2.33		
H25	北海道立総合研究機構 環境科学研究センター	鵒川	0.255 (環境基準点)	160	河川中農薬 モニタリング調査
		鵒川橋	0.255		
		厚真川	3.29 (主観測地点)	-	
		厚真大橋	0.021		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

I-4-4 シメトリン

最大濃度：13.5 $\mu\text{g/L}$ (動態観測点 (水田排水路))

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	6.2	0.7146 (Tier2)
水濁	未設定	未設定

表 I-4-3 農薬の過年度の検出状況 (シメトリン)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機 構	鵠川	0.091 (環境基準点)	28	河川中農薬 モニタリング調査
		鵠川橋	0.091		
		厚真川	0.012 (主観測地点)	1.0	
		厚真新橋	<0.005		
		軽舞川	0.020 (支流)		
		若草橋 (支流)	0.020		
茨城県		浅川	2.23 ^{※2} (環境基準点)	24.9	河川中農薬 モニタリング調査
		浅川橋	2.23 ^{※2}		
		久慈川	1.27 ^{※2} (環境基準点)	17.3	
		榊橋	1.27 ^{※2}		
栃木県農業試験場		小貝川	3.79 ^{※2} (上流動態観測点)	4.42~	河川中農薬 モニタリング調査
		三谷橋	2.90 ^{※2}	16.16	
		ぐみ川	1.50 ^{※2} (動態観測点)	0.5	
		十六橋 (動態観測点)	1.50 ^{※2}		
埼玉県		飯盛川	0.12 (上流動態観測点)	5.5	河川中農薬 モニタリング調査
		荻野2号橋 (上流動態観測点)	0.12		
		越辺川	0.16 (環境基準点)		
		落合橋	0.16		
		市野川	0.13 (環境基準点)		
		徒歩橋	0.13		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H26	千葉県	鹿島川・高崎川	0.66 (環境基準点)	18	河川中農薬 モニタリング調査
		鹿島橋	0.66		
		鹿島川	0.62 (動態観測点)		
		岩富橋 (動態観測点)	0.42		
		高崎川	0.68(動態観測点)		
		樋之口橋 (動態観測点)	0.68		
		師戸川	0.88 ^{※2} (環境基準点)	14	
		師戸橋	0.88 ^{※2}		
H25	北海道立総合研究機構 環境科学研究センター	鵠川	0.045(環境基準点)	11	河川中農薬 モニタリング調査
		鵠川橋	0.045		
		厚真川	0.048(主観測地点)	0.76	
		浜厚真橋	<0.004		
	茨城県農業総合 センター農業研究所	浅川	2.25 ^{※2} (動態観測点)	2.13	河川中農薬 モニタリング調査
		浅川橋	1.40 ^{※2}		
		久慈川	1.16 ^{※2} (環境基準点)	推定 不可	
		榊橋	1.16 ^{※2}		
	埼玉県農林総合研究セ ンター	都幾川	<0.05(環境基準点)	①2.1 ②3.2 参考値	河川中農薬 モニタリング調査
		東松山橋	<0.05		
		越辺川	0.70(環境基準点)		
		落合橋	0.70		
千葉県農林総合研究セ ンター	高崎川	1.42 ^{※2} (動態観測点)	8.8	河川中農薬 モニタリング調査	
	竜灯橋	0.36			
	鹿島川、高崎川	1.42 ^{※2} (動態観測点)	6.6		
	鹿島橋	0.62			
	師戸川	1.72 ^{※2} (環境基準点)	22		
	師戸橋	1.72 ^{※2}			

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

①：流速計の測定値から算出した流量をもとに求めたもの

②：観測推移から算出した流量（荒川上流河川事務所 HP による）をもとに求めたもの

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H24	北海道立総合研究機構環境科学研究センター	沙流川	0.056(排水路)	0	河川中農薬 モニタリング調査
		沙流川橋	<0.020		
	茨城県農業総合センター農業研究所	浅川	4.10 ^{※2} (動態観測点)	5.4	河川中農薬 モニタリング調査
		浅川橋	2.23 ^{※2}		
	島根県農業技術センター	赤川	3.71 ^{※2} (動態観測点)	61.2	河川中農薬 モニタリング調査
		宇治(補助点)	0.67		
H23	北海道立総合研究機構環境科学研究センター	千歳川	0.684(排水路)	23.6	水田農薬河川 モニタリング調査
		東光橋	0.208		
	茨城県農業総合センター農業研究所	浅川	6.01 ^{※2} (上流部動態観測点)	5.7	水田農薬河川 モニタリング調査
		浅川橋	3.4 ^{※2}		
H22	茨城県農業総合センター農業研究所	桂川及び 岩船川	4.57 ^{※2} (上流部観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
H18	埼玉県環境科学国際センター	中川	1.17 ^{※2}	-	長期河川 モニタリング調査
		道橋(補助点)	0.71 ^{※2}		
	埼玉県農林総合研究センター	大谷川及び 越辺川	3.4 ^{※2} (動態観測点)	22.9	水田農薬河川 モニタリング調査
		落合橋	0.7		
	兵庫県立健康環境科学研究センター	杉原川	0.10(動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋(補助点)	<0.01		
H17	埼玉県農林総合研究センター	飯盛川及び 越辺川	3.3 ^{※2} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		落合橋	1.8 ^{※2}		
	神奈川県環境科学センター	渋田川	1.68 ^{※2}	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		立堀橋(補助点)	1.58 ^{※2}		
H16	埼玉県農林総合研究センター	大谷川	13.5 ^{※1,2} (動態観測点 (水田排水路))	27.1	長期河川 モニタリング調査
H15	埼玉県環境科学国際センター	野通川	2.5 ^{※2}	-	モニタリング 調査

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

I-4-5 チアジニル

最大濃度： 過年度の調査なし

	登録保留基準値 (μ g/L)	PEC (μ g/L)
水産	未設定	未設定
水濁	100	64 (Tier1)

I-4-6 ブタクロール

最大濃度：72.4 $\mu\text{g/L}$ (水田排水路)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	3.1	0.15 (Tier2)
水濁	26	0.21 (Tier2)

表 I-4-4 農薬の過年度の検出状況 (ブタクロール)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準 点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H26	地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川	0.66 ^{※2} (環境基準点)	2	河川中農薬 モニタリング調査
		石川橋	0.62 ^{※2}		
		高橋	0.66 ^{※2}		
		飛鳥川	0.88 ^{※2} (環境基準点)		
		円明橋	0.88 ^{※2}		
		佐備川	1.18 ^{※2} (環境基準点)		
H25	地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川	0.80 ^{※2,4} (環境基準点)	0.8	河川中農薬 モニタリング調査
		高橋	0.80 ^{※2,4}		
		佐備川	1.07 ^{※2,4} (環境基準点)		
		大伴橋	1.07 ^{※2,4}		
		石川	0.35 ^{※2,4} (環境基準点)		
		石川橋	0.35 ^{※2,4}		
	高知県農業技術 センター	仁井田川	0.09(主観測点)	①0.7	河川中農薬 モニタリング調査
		根元橋	0.09	①1.2	
		四万十川	0.08(環境基準点)		
		鍛冶屋瀬橋	0.08		
H24	大阪府立環境農林水 産総合研究所	佐備川	3.4 ^{※1,2} (流入小河川)	4	河川中農薬 モニタリング調査
		大伴橋	1.2 ^{※2,4}		
	島根県農業技術 センター	赤川	0.55 ^{※2,4} (補助点)	11.1	河川中農薬 モニタリング調査
宇治(補助点)	0.55 ^{※2,4}				
H22	大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川、佐備川 及び宇奈田川	3.5 ^{※1,2,4} (動態観測点)	15.3	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 手前	3.2 ^{※1,2,4}		
H21	北海道環境科学 研究センター	-	0.646 ^{※2,4} (水田排水路)	0.001~ 0.03	水田農薬精密 モニタリング調査
	大阪府立環境農林水 産総合研究所	千早川及び 石川	1.0 ^{※2,4} (上流部観測点)	3.0	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 F	0.5 ^{※2,4}		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

① 農薬濃度が定量限界値以下の場合には0として算出した。

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H20	北海道環境科学 研究センター	-	72.4 ^{※1,2,3,4} (水田排水路)	1.35	水田農薬精密 モニタリング調査
	大阪府環境農林 水産総合研究所 研究センター	千早川及び 石川	5.2 ^{※1,2,4} (動態観測点)	7.8-14.4	水田農薬河川 モニタリング調査
地点G		0.4 ^{※2,4}			
H19	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	5.87 ^{※1,2,4} (動態観測点)	40	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点G	0.51 ^{※2,4}		
H18	大阪府立食とみ どりの総合技術 センター	千早川及び 石川	1.52 ^{※2,4}	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点F	0.34 ^{※2,4}		
H15	北海道環境科学 研究センター	滝の川	5.048 ^{※1,2,4}	-	生態環境野外調査

※1：水産基準値超過、※2：水産PEC超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁PEC超過

I-4-7 ブプロフェジン

最大濃度：0.35 μg/L (補助点)

	登録保留基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水産	80	12 (Tier1)
水濁	23	2.5 (Tier2)

表 I-4-5 農薬の過年度の検出状況 (ブプロフェジン)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体最大 濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準最大 濃度(μg/L)		
H18	兵庫県立健康環境科学 研究センター	杉原川		-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋(補助点)	0.07		
H17	兵庫県立健康環境科学 研究センター	杉原川		-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋(補助点)	0.35		

※1：水産基準値超過、※2：水産PEC超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁PEC超過

I-4-8 プレチラクロール

最大濃度：81.2 $\mu\text{g/L}$ (水田排水路)

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	2.9	1.1 (Tier2)
水濁	47	16 (Tier1)

表 I-4-6 農薬の過年度の検出状況 (プレチラクロール)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考		
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)				
H26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	鵠川	0.358(環境基準点)	3.6	河川中農薬 モニタリング調査		
		鵠川橋	0.358				
		厚真川	1.76 ^{※2} (環境基準点)	1.7			
		厚真新橋	1.76 ^{※2}				
		軽舞川	0.384 (支流)				
		若草橋 (支流)	0.384				
	茨城県	浅川	7.48 ^{※1,2} (環境基準点)	37.8		河川中農薬 モニタリング調査	
		浅川橋	7.48 ^{※1,2}				
		久慈川	2.02 ^{※2} (環境基準点)	18.4			
		榊橋	2.02 ^{※2}				
	栃木県農業試験場	小貝川	4.66 ^{※1,2} (上流動態観測点)	3.88~			河川中農薬 モニタリング調査
		三谷橋	2.44 ^{※2}	17.51			
		ぐみ川	0.62(動態観測点)	0.23			
		十六橋 (動態観測点)	0.62				
	埼玉県	飯盛川	1.32 ^{※2} (上流動態観測点)	4.4		河川中農薬 モニタリング調査	
荻野2号橋 (上流動態観測点)		1.32 ^{※2}					
越辺川		0.55(環境基準点)					
落合橋		0.55					
市野川		0.65(環境基準点)					
徒歩橋		0.65					

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H26	千葉県	鹿島川・高崎川	2.4 ^{※2} (環境基準点)	29	河川中農薬 モニタリング調査
		鹿島橋	2.4 ^{※2}		
		鹿島川	2.6 ^{※2} (動態観測点)		
		岩富橋 (動態観測点)	1.6 ^{※2}		
		高崎川	1.8 ^{※2} (動態観測点)		
		樋之口橋 (動態観測点)	1.8 ^{※2}		
		師戸川	7.2 ^{※1,2} (環境基準点)	25	
		師戸橋	7.2 ^{※1,2}		
	京都府農林水産技術 センター	犬飼川	0.183 (環境基準点)	22	河川中農薬 モニタリング調査
		並河橋	0.183		
		西川	0.039 (補助点)	0.1	
		桂川流入前 (補助点)	0.039		
		桂川	0.045 (補助点)	-	
		保津峡入口 (補助点)	0.045		
	地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川	0.48 (環境基準点)	5	河川中農薬 モニタリング調査
		石川橋	0.48		
		高橋	0.37		
		飛鳥川	0.75 (環境基準点)		
		円明橋	0.75		
		佐備川	1.44 ^{※2} (環境基準点)		
		大伴橋	1.44 ^{※2}		
奈良県	飛鳥川	3.04 ^{※1,2} (上流動態観測 点)	0.4	河川中農薬 モニタリング調査	
	四分橋(主観測点)	1.64 ^{※2}	3.7		
	曾我川	0.26 (環境基準点)			
	曾我川橋	0.26			
	寺川	0.60 (主観測点)	0.5		
	興仁橋(主観測点)	0.60			
香川県農業試験場	高瀬川	0.27(動態観測点)	0.7~1.8	河川中農薬 モニタリング調査	
	唐崎橋(主観測点)	0.18			

※1：水産基準値超過、※2：水産PEC超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁PEC超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H25	北海道立総合研究機構 環境科学研究センター	鵠川	0.144 (環境基準点)	12	河川中農薬 モニタリング調査
		鵠川橋	0.144		
		厚真川	0.572(排水路)	8.7	
		浜厚真橋	0.442		
	茨城県農業総合 センター農業 研究所	浅川	2.76 ^{※2} (環境基準点)	6.54	河川中農薬 モニタリング調査
		浅川橋	2.76 ^{※2}		
		久慈川	0.64(環境基準点)	推定 不可	
		榊橋	0.64		
	埼玉県農林総合 研究センター	都幾川	<0.1(環境基準点)	①0.6 ②1.3 参考値	河川中農薬 モニタリング調査
		東松山橋	<0.1		
		越辺川	2.3 ^{※2} (環境基準点)		
		落合橋	2.3 ^{※2}		
	千葉県農林総合 研究センター	高崎川	3.9 ^{※1,2} (動態観測点)	12	河川中農薬 モニタリング調査
		竜灯橋	2.4 ^{※2}		
		鹿島川、高崎川	3.9 ^{※1,2} (動態観測点)	6.2	
		鹿島橋	2.3		
		師戸川	3.4 ^{※2} (環境基準点)	9.1	
		師戸橋	3.4 ^{※2}		
	地方独立行政法人大阪 府立環境農林水産総合 研究所	石川	0.07(環境基準点)	1	河川中農薬 モニタリング調査
		高橋	0.07		
佐備川		0.65(環境基準点)			
大伴橋		0.65			
石川		0.19(環境基準点)			
石川橋		0.19			
高知県農業技術 センター	波介川	0.76 (観測点)	2.3	河川中農薬 モニタリング調査	
	弥九郎橋	0.17			
	仁井田川	0.40(主観測点)	1.8		
	根元橋	0.40			
	四万十川	0.12(環境基準点)	1.9		
	鍛冶屋瀬橋	0.12			

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

①：流速計の測定値から算出した流量をもとに求めたもの。

②：観測推移から算出した流量（荒川上流河川事務所 HP による）をもとに求めたもの。

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H24	北海道立総合研究機構環境科学研究センター	沙流川	0.125 (排水路)	0.8～ 1.2	河川中農薬 モニタリング調査
		沙流川橋	0.023		
	茨城県農業総合センター農業研究所	浅川	3.98 ^{※1,2} (動態観測点)	13.5	河川中農薬 モニタリング調査
		浅川橋	2.04 ^{※2}		
	千葉県農林総合研究センター	鹿島川	2.6 ^{※2} (支流観測点等)	5.7	河川中農薬 モニタリング調査
		鹿島橋	2.6 ^{※2}		
	長野県農業試験場	千曲川	3.3 ^{※1,2} (上流部観測点)	0.8	河川中農薬 モニタリング調査
		立ヶ花橋	0.2		
	大阪府立環境農林水産総合研究所	佐備川	0.6 (上流部観測点)	2	河川中農薬 モニタリング調査
		大伴橋	0.3		
島根県農業技術センター	赤川	4.07 ^{※1,2} (動態観測点)	48.8	河川中農薬 モニタリング調査	
	宇治 (補助点)	2.22 ^{※2}			
高知県農業技術センター	柳瀬川	4.825 ^{※1,2} (支流)	5.4	河川中農薬 モニタリング調査	
	黒岩橋	0.961			
H23	北海道立総合研究機構環境科学研究センター	千歳川	2.86 ^{※2} (排水路)	11.0	水田農薬河川 モニタリング調査
		東光橋	1.87 ^{※2}		
	茨城県農業総合センター農業研究所	浅川	2.26 ^{※2} (動態観測点)	6.1	水田農薬河川 モニタリング調査
		浅川橋	1.6 ^{※2}		
高知県農業技術センター	柳瀬川	2.0 ^{※2} (支流)	10.5	水田農薬河川 モニタリング調査	
	黒岩橋	0.6			
H22	茨城県農業総合センター	桂川及び岩船川	2.28 ^{※2} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
	大阪府環境農林水産総合研究所	石川、宇奈田川及び佐備川	2.2 ^{※2} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流点手前	1.1		
H21	茨城県農業総合センター	渋江川、山田川及び里川	3.52 ^{※1,2} (動態観測点)	4	水田農薬河川 モニタリング調査
		新落合橋	1.82 ^{※2}		
	大阪府環境農林水産総合研究所	千早川及び石川	1.5 ^{※2} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 F	0.5		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H21	島根県農業技術 センター	新田川及び 斐伊川	2.2 ^{※2} (他地区から の排水地点)	9.1	水田農薬河川 モニタリング調査
		神立橋	<0.6		
H20	秋田県農林水産 技術センター	淀川及び 雄物川	4.3 ^{※1,2} (環境基準点)	2.2～ 18.6	水田農薬河川 モニタリング調査
		新波橋	4.3 ^{※1,2}		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	0.4 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点	0.2		
H19	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	30.37 ^{※1,2,4} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 (地点 G)	2.68 ^{※2}		
	秋田県農林水産 技術センター	子吉川	10.3 ^{※1,2} (排水路)	2.79～ 26.53	水田農薬河川 モニタリング調査
		新二十六木橋	2.6 ^{※2}		
	埼玉県環境科学 国際センター	元荒川	4.9 ^{※1,2} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		渋井橋 (補助点)	2.4 ^{※2}		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川		-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)			
H18	秋田県農林水産 技術センター	岩見川及び 雄物川	31.6 ^{※1,2,4} (排水路)	8.4	水田農薬河川 モニタリング調査
		秋田大橋	1.4 ^{※2}		
	埼玉県環境科学 国際センター	中川	21.5 ^{※1,2,4} (上流部観測点)	-	長期河川 モニタリング調査
		道橋 (補助点)	7.78 ^{※1,2}		
	大阪府食とみどりの 総合技術センター	千早川及び 石川	<0.1	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点(地 点 F)	<0.1		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川	2.8 ^{※2} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	0.47		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準 点	下：環境基準 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H17	北海道立中央農業 試験場	夕張川	6.10 ^{※1,2} (観測点)	8.1	水田農薬河川モニタリング調査
		馬追橋	0.95		
	神奈川県環境科学 センター	渋田川	2.12 ^{※2} (補助点)	-	水田農薬河川モニタリング調査
		立堀橋 (補助点)	2.12 ^{※2}		
	兵庫県立健康環境 科学研究センター	杉原川	0.95 (動態観測点)	-	水田農薬河川モニタリング調査
春日橋 (補助点)		0.36			
H16	青森県農林総合 研究センター	岩木川	6 ^{※1,2} (動態観測点)	-	水田農薬河川モニタリング調査
		乾橋	2 ^{※2}		
	埼玉県農林総合 研究センター	大谷川	2.5 ^{※2} (動態観測点 (水田排水路))	166	長期河川モニタリング調査
H15	北海道環境科学 センター	滝の川	0.91	-	生態影響野外調査
	茨城県農業総合 センター	里川、山田川 及び久慈川	81.2 ^{※1,2,3,4} (動態観測点 (水田排水路))	0.67~ 3.42	モニタリング調査
	大阪府食とみどりの 総合技術センタ ー	石川及び 大乘川	0.5	-	モニタリング調査

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

I-4-9 ブロモブチド

最大濃度：86.2 $\mu\text{g/L}$

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	480	23 (Tier1)
水濁	100	36 (Tier1)

表 I-4-7 農薬の過年度の検出状況 (ブロモブチド)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H26	宮城県	白石川	8 (参考観測点)	-	河川中農薬 モニタリング調査 (参考データとし ての測定)
		城山橋 (参考観測点)	8		
		松川	2 (環境基準点)		
		宮大橋	2		
		藪川	30 ^{※2} (参考観測点)		
		相ノ澤橋 (参考観測点)	30 ^{※2}		
	地方独立行政法人大阪 府立環境農林水産総合 研究所	石川	14.28 (環境基準点)	14	河川中農薬 モニタリング調査
		石川橋	14.28		
		高橋	4.48		
		飛鳥川	13.06 (環境基準点)		
		円明橋	13.06		
		佐備川	18.45 (環境基準点)		
	奈良県	飛鳥川	2.32 (上流動態観測点)	6.1	河川中農薬 モニタリング調査
		四分橋(主観測点)	2.10		
		曾我川	2.58 (環境基準点)	33.3	
		曾我川橋	2.58		
		寺川	4.38(主観測点)	16.6	
		興仁橋(主観測点)	4.38		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H24	北海道立総合研究機構 環境科学研究センター	沙流川	0.764(農村排水観測 点)	492	河川中農薬 モニタリング調査
		沙流川橋	0.034		
	茨城県農業総合 センター農業 研究所	浅川	7.04(動態観測点)	7.7	河川中農薬 モニタリング調査
		浅川橋	6.89		
	大阪府立環境農林水産 総合研究所	佐備川	14.4(流入小河川)	22	河川中農薬 モニタリング調査
		大伴橋	12.4		
島根県農業技術 センター	赤川	6.22(補助点)	36.5	河川中農薬 モニタリング調査	
	宇治(補助点)	6.22			
高知県農業技術 センター	柳瀬川	6.064(支流)	20.2	河川中農薬 モニタリング調査	
	黒岩橋	4.792			
H23	島根県農業技術 センター	斐伊川	5.3(排水路)	8.7	水田農薬河川 モニタリング調査
		神立橋	1.3		
H22	北海道環境科学 研究センター	-	86.2 ^{※2,4} (暗渠排水)	0.52~ 13.7	水田農薬精密 モニタリング調査
	大阪府環境農林 水産総合研究所	石川、左備川 及び宇奈田川	29.0 ^{※2} (動態観測点)	33.2 (地点C)	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流点手前	14.5		
H21	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	7.8(上流部観測点、 動態観測点)	26.2	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点F	6.3		

※1：水産基準値超過、※2：水産PEC超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁PEC超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体最大 濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準最大 濃度(μg/L)		
H20	埼玉県環境科学 国際センター	和田吉野川	3.2 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		吉見橋	2.1		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	5.0 (動態観測点)	17.3	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点(地点 G)	2.9		
H19	埼玉県環境科学 国際センター	元荒川	13 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		渋井橋 (補助点)	4.5		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	7.33 (動態観測点)	41	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 (地点G)	1.77		
	兵庫県立健康環境 科学研究センター	杉原川	8.7 (補助点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	8.7		
	高知県環境研究 センター	仁淀川及び 波介川	1.419 (動態観測点)	29.5	水田農薬河川 モニタリング調査 汽水域等における モニタリング調査
		八田堰(上流部観測 点)	0.148		
H18	青森県農林総合 研究センター	浅瀬石川	6.5 (動態観測点)	0.8	水田農薬河川 モニタリング調査
		朝日橋	1.0		
	埼玉県環境科学 国際センター	中川	14.7 (補助点)	-	長期河川 モニタリング調査
		道橋(補助点)	14.7		
	埼玉県農林総合 研究センター	大谷川及び 越辺川	0.3 (動態観測点)	0.8	水田農薬河川 モニタリング調査
		落合橋	<0.2		
	大阪府食とみどりの 総合技術センター	千早川及び 石川	0.91 (環境基準点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点(地点 F)	0.91		
	兵庫県立健康環境 科学研究センター	杉原川	6.8	0.4	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	2.8		
H17	青森県農林総合 研究センター	岩木川及び 平川	8.0 (動態観測点)	8.2	水田農薬河川 モニタリング調査
		幡龍橋	4.0		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体最大 濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準最大 濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H17	埼玉県農林総合 研究センター	飯盛川及び 越辺川	0.6 (動態観測点)	16.6	水田農薬河川 モニタリング調査
		落合橋	<0.2		
	埼玉県環境科学 国際センター	中川	3.6 (上流部観測点)	-	長期河川 モニタリング調査
		道橋	3.4		
	兵庫県立健康環境科学 研究センター	杉原川	5.15 (補助点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	5.15		
H16	兵庫県立健康環境科学 研究センター	杉原川	4.6 (補助点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	4.6		
H15	北海道環境科学 研究センター	滝の川	6.01 (下流部)	-	生態影響野外調査

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

I-4-10 メフェナセット

最大濃度：11 $\mu\text{g/L}$

	登録保留基準値 ($\mu\text{g/L}$)	PEC ($\mu\text{g/L}$)
水産	32	18 (Tier1)
水濁	10	2.3 (Tier2)

表 I-4-8 農薬の過年度の検出状況 (メフェナセット)

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H26	地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川	0.87 (環境基準点)	22	河川中農薬 モニタリング調査
		石川橋	0.87		
		高橋	0.16		
		飛鳥川	1.54 (環境基準点)		
		円明橋	1.54		
		佐備川	0.99 (環境基準点)		
	大伴橋	0.99			
	香川県農業試験場	高瀬川	0.92 (動態観測点)	1.5~	河川中農薬 モニタリング調査
唐崎橋 (主観測点)	0.20	5.1			
H25	地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川	1.64 (環境基準点)	6	河川中農薬 モニタリング調査
		石川橋	1.64		
		佐備川	1.07 (環境基準点)		
		大伴橋	1.07		
	高知県農業技術 センター	波介川	0.45 (主観測点)	2.3	河川中農薬 モニタリング調査
		弥九郎橋	0.45		
		仁井田川	0.23 (主観測点)	1.9	
		根元橋	0.23		
四万十川	0.04 (環境基準点)	0.4			
	鍛冶屋瀬橋		0.04		
H24	大阪府立環境農林水 産総合研究所	佐備川	2.7 ^{※4} (流入小河川)	22	河川中農薬 モニタリング調査
		大伴橋	1.4		
	高知県農業技術 センター	柳瀬川	4.110 ^{※4} (支流)	10.1	河川中農薬 モニタリング調査
		黒岩橋	1.716		
H23	高知県農業技術 センター	柳瀬川	1.0 (支流)	25.3	水田農薬河川 モニタリング調査
		黒岩橋	0.6		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H22	大阪府環境農林 水産総合研究所	左備川及び 宇奈田川	1.3 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流点 手前	1.0		
H21	茨城県農業総合 センター	渋江川、山田川及び 里川	3.84 ^{※4} (動態観測点)	211	水田農薬河川 モニタリング調査
		新落合橋	2.11		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	3.8 ^{※4} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 F	1.4		
H20	埼玉県環境科学 国際センター	和田吉野川	1.85 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		吉見橋	0.41		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	1.2 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点(地点 G)	0.5		
	島根県農業技術 センター	斐伊川	2.4 ^{※4} (動態観測点)	7.6	水田農薬河川 モニタリング調査
神立橋		0.5			
H19	埼玉県環境科学 国際センター	元荒川	2.0 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		渋井橋 (補助点)	0.27		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	3.27 ^{※4}	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 (地点 G)	1.03		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川		-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)			
	島根県農業技術 センター	斐伊川	2.79 ^{※4} (動態観測点)	5.2	水田農薬河川 モニタリング調査
		神立橋	<0.4		

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H18	埼玉県環境科学 国際センター	中川	0.875 (上流部観測点)	-	長期河川 モニタリング調査
		道橋 (補助点)	0.468		
	大阪府食とみどりの 総合技術センター	千早川及び 石川	<0.5	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 (地 点F)	<0.5		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川	2.5 ^{※4} (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	0.18		
島根県農業技術 センター	斐伊川	2.7 ^{※4} (排水)	5.9	水田農薬河川 モニタリング調査	
	神立橋	<0.4			
H17	神奈川県環境科学セ ンター	渋田川	1.66 (補助点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		立堀橋 (補助点)	1.66		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川	2.1 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋 (補助点)	1.2		
H15	北海道環境科学 センター	滝の川	0.48 (下流部)	-	生態影響野外調査
	大阪府食とみどりの 総合技術センター	石川及び 大乘川	4.3 ^{※4}	-	モニタリング調査
	埼玉県環境科学 国際センター	野通川及び 元荒川	11 ^{※3,4} (動態観測点 (水田排水路))	-	モニタリング調査

※1：水産基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過